



新型コロナウイルスの影響を受ける個人や事業主への支援

①生活の確保—ご自身やご家族を守るために必要な支援をチェックして下さい

- ◆住宅確保給付金⇒住宅を喪失した人や喪失するおそれがある人に対し、就職活動要件を実施し、対象となる方に家賃相当額を支給
お問い合わせ：市社会福祉課(電話0270-27-2748)
- ◆緊急小口資金⇒緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、10万円～20万円を貸付
お問い合わせ：社会福祉協議会(電話0270-25-4546)
- ◆生活保護や生活に困窮している事の相談
お問い合わせ：市社会福祉課(電話0270-27-2749)
- ◆市税等の猶予などの相談
各お問い合わせ(電話番号の頭に全て0270がつきます)
市税→収納課(電話27-2722) 法人市民税→市民税課(電話27-2718)
国民健康保険税の減免→国民健康保険課(電話27-2736)
介護保険料→介護保険課(電話27-2742)
軽自動車税の減免→市民税課(電話27-2715)
水道料金→上下水道局総務課料金係(電話30-1230)
- ◆県税・国税等の猶予の相談
各お問い合わせ 県税→伊勢崎行政県税事務所(電話0270-24-4350)
国税→関東信越国税局(電話0120-948-249)
国民年金保険料→ねんきん加入者ダイヤル(電話0570-003-004)
又は(電話03-6630-2525)
前橋年金事務所(電話番号：027-231-1719)

②資金繰り支援—融資もご検討ください

- ◆民間銀行(セーフティネット保証4号5号/危機関連保証)
- ◆政府系(日本政策金融公庫、商工中金)
実質無利子・無担保・返済据え置き期間・保証料減免等の制度を活用しましょう。
各お問い合わせ 各金融機関
群馬県経営支援課(電話027-226-3332)
伊勢崎市商工労働課(電話番号0270-27-2754)

③家賃支援給付金—テナントで事業をされている方は要チェックです

- 対象：単月売上50%減少、または、連続3か月で30%以上減少。
給付上限：法人600万円、個人300万円
お問い合わせ：経済産業省(電話0120-653-930)

④持続化給付金—単月50%以上の減収の中小企業や個人事業主が申請できます

- 給付上限：法人200万円、個人100万円 2020年1～3月創業者にも対象拡大
お問い合わせ：持続化給付金コールセンター(電話0120-115-570)

全て掲載出来ないの、不明な点がございましたら、まにわ充裕までお問い合わせ下さい。又、各支援策の詳細については最新の情報をご確認下さい。

◆コロナ影響下の社会を考える

新型コロナウイルスは本当に多くの事を我々に突き付けました。この世からウイルスが消滅しない限り、今後も人類はその危険性を前提に社会を構築する事になります。不安と混乱の春から、希望と安定の夏や秋を目指したいものです。国・県・市が出来る事、我々市議会が出来る事、直近の行動をお伝えする事で皆さんと考えていきたいと思ひます。

又、今後は経済の落ち込みの影響がより一層、出現してくると思われ、ご承知かもしれませんが、現時点の支援策等のまとめも掲載いたします。



◆未曾有の災害時だからこそ、議員活動を活発に！

4/6 副市長へ新型コロナウイルス関連の要望書提出

項目：「市長メッセージ発信」、「各団体の総会は書面決議を促し、非開催の場合も補助金支給」、「妊婦へマスク配布及び国の布マスクの寄付受け入れ」、「告別式の感染対策」、「見やすいホームページ感染症情報」、「市役所業務における感染防止」、「中小企業及び飲食業の支援」、「休校の決定過程の公開」

4/7 緊急事態宣言(7都府県)

4/9 健康づくり課に要望(項目：発熱外来、日々の行動記録の啓発、消毒液確保)

4/11 伊勢崎市内藤和の苑入居者・職員において30名を超える集団感染発生が確認

4/17 教育委員会に要望(項目：家庭ネット環境調査・リスクが高い教職員感染防止)

4/18 伊勢崎市版の個人・企業支援のまとめを作成しインターネットで公開

4/20 介護・障害福祉部門に要望(項目：現場における感染対策、専門家指導・DVD)

4/21 教育におけるテレビ活用を「群馬テレビ」・「県教育委員会」に要望

4/22 特別定額給付金の事務について要望(項目：スピード、DV被害者、基金の創設)

5/20 学校再開にあたっての要望(中体連記念大会・学校相談員増員)

5/27 県内83%の市町村が1人1台ネット端末整備方針(伊勢崎市は見送り)と報道

5/28 1人1台端末整備を教育委員会に緊急要望(6/1に児童・生徒1人1台整備へ転換)

このほか、県内で最も情報発信していた県知事の記者会見要約を世界一速くブログ発信や200以上の市内事業所訪問、1000件以上の市民電話御用聞きを行いました。

*上記の活動のほとんどをブログで速やかに公開し、議員活動の透明化を図りました。

ご意見お寄せください！

住所：伊勢崎市太田町1146-7 メール：swrmg866@ybb.ne.jp

電話：090-7836-3135(取れない時は折り返し電話します)

馬庭 充裕 (まにわ みつひろ)

—伊勢崎市議会議員— いせさき未来代表 1978年11月22日生まれ。41歳
尚学館中学(宮崎県)、日高高校(和歌山県)を経て、群馬大学卒業(理学療法士・呼吸療法認定士)。美原記念病院に勤務後、現職。市内太田町在住、家族は妻・娘・息子。
座右の銘：未来を予測する最善の方法は、自らそれを創り出すことである。

①

馬庭 充裕
一般質問①

人件費総額を変えなくても、給与制度改革はやる気があれば出来ます！

真面目な職員が報われる人事評価制度構築について

質問…人事評価の現状をお伺いいたします。
答弁…人事評価の結果を反映しました昨年12月の勤勉手当の支給額におきましては、特定幹部職員では特に優秀の職員と良好の職員とでは最大で8万4千円の差が、一般職員では優秀の職員と良好の職員とでは最大で2万5千円の差がございます。

質問…最短で管理職の係長職となった職員を上回る給料に格付されている一般職員数は前回質問時に99人でした。現状と是正の取り組みについてお伺いいたします。

答弁…最短の係長職員の給料を上回る係長代理の職員数は昨年4月1日現在で106人でございます。これまでの取り組みにつきましては、平成29年度から係長代理の選考制度を設けますと共に平成30年度には係長代理の職務・役割の見直しを行っております。

質問…人事評価制度の課題及び職員倫理意識と人事評価に関するアンケート調査の考えについてお聞かせください。

答弁…アンケート調査につきましては、人事評価や公務員倫理に限りません、今後必要に応じて実施をまいります。

質問…水道料金の減免の考えについてお伺いいたします。
答弁…水道料金の減免の考えについては、市民の皆様の作品を発表出来る場として、市民アートフェスティバルを本年11月6～8日までの三日間、本年度は3部門同時に開催します。より多くの方々に作品を観覧してもらえますように、展示された作品を市のホームページに掲載しますなど、新たな環境整備についても検討してまいります。

③

馬庭 充裕
一般質問③

国・県の制度、地域の人材をフル活用して、子どもの学びの保障を

学びの保障について

質問…学習の遅れ対策について伺います。学習支援ボランティアや学習塾との連携についてお聞かせください。
答弁…子どもの学びをより充実させるため、授業や学校行事等において、学校支援ボランティアを積極的に活用するとともに学校子ども応援サポーター人材バンクの利用や地域の教育機関との連携について研究します。

質問…就学援助について伺います。本制度は前年の所得に応じて認定される制度ですが、新型コロナウイルス感染症による影響により家計が急変した方から相談があった場合には個人の状況に依り、柔軟に対応するよう検討しているところでございます。(*本件は、前年度の所得のみに限らない審査について、速やかに周知がされました)

答弁…就学援助の件でございますが、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した方から相談があった場合には個人の状況に依り、柔軟に対応するよう検討しているところでございます。(*本件は、前年度の所得のみに限らない審査について、速やかに周知がされました)
理由④…政務活動費は各議員の経済力に関わらず仕事に専念するための補助金です。どうしても300万円を市に返納することが必要ならば、政務活動を保証するため、その分は先行して行った議員報酬削減を更に行うべきと考えました。

②

馬庭 充裕
一般質問②

新型コロナウイルスは多くの分野に多くの影響を与えています

新型コロナウイルス対応について

質問…妊産婦への手指消毒薬及びマスク配布の考えをお伺いします。
答弁…妊婦の皆様には、今後の感染流行状況やマスクの流通状況を注視しながら配布について検討を行います。なお、手指消毒薬の配布につきましては、今後調査研究をしております。

質問…感染の不安から予防接種を見合わせの方への対応についてお伺いします。
答弁…受診による感染を恐れて、予防接種を見送るケースが考えられます。そのようなご相談がありました場合には柔軟に対応をしております。(*本件は、市の子育てメール等で速やかに周知が実施されました)

質問…インターネット展示作品の募集など、文化活動の支援の考えについてお伺いします。
答弁…市民の皆様の作品を発表出来る場として、市民アートフェスティバルを本年11月6～8日までの三日間、本年度は3部門同時に開催します。より多くの方々に作品を観覧してもらえますように、展示された作品を市のホームページに掲載しますなど、新たな環境整備についても検討してまいります。

質問…水道料金の減免の考えについてお伺いいたします。
答弁…水道料金の減免の考えについては、市民の皆様の作品を発表出来る場として、市民アートフェスティバルを本年11月6～8日までの三日間、本年度は3部門同時に開催します。より多くの方々に作品を観覧してもらえますように、展示された作品を市のホームページに掲載しますなど、新たな環境整備についても検討してまいります。

④

まにわ充裕
議案に反対

必要な事は、パフォーマンスではなく、良質な政策を出す事と考えます

政務活動費を削減する議員提出議案に反対しました！

理由①…伊勢崎市の約5億円の新型コロナウイルス対策費に対し、議会の政務活動費削減の300万円は0.6%。パフォーマンス以上の効果に乏しい(国の2次補正予算分も含めると、約17億円に対し、0.18%)。
理由②…会派によっては慣例で毎年視察している全国フォーラム等が中止となっても、新型コロナウイルス禍において、議員が学びこと・発信することは多々あること。

理由③…伊勢崎クラブの条例提案理由は、要約すると、政務活動費削減による300万円は確実に市に役立てて頂けるからとのことでした。政務活動費で、しっかりと案件調査し、1人10万5千円の削減額以上のまちづくりに努力するのが議員の務めと考えます。

理由④…政務活動費は各議員の経済力に関わらず仕事に専念するための補助金です。どうしても300万円を市に返納することが必要ならば、政務活動を保証するため、その分は先行して行った議員報酬削減を更に行うべきと考えました。